

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 5 年 5 月 30 日

事業所名 第2乳幼児親子教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・対面での食事を避けている ・密を避けるため2Fを使用し対応している。2Fにボルダリング等室内遊具をおいて運動遊びを充実させている。	当日の人数や状況を考慮して、その都度配置やプログラムを考えていく
	②	職員の配置数は適切である	5	0	・基準より多く配置している	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	・2F移動の時は職員が介助している ・バリアフリー化は建物構造上難しい。可能な限りで、子供が危険なく活動出来るよう配慮している。 ・1階は玄関までバギーで入ることができる	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・消毒・清掃等徹底している。	
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	・毎回反省をして次に活かせるようにしている	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・面談等でも要望があれば聞いている	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0	・三年ごとの第三者評価だが、法人内で共有し改善点も共有している	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・職員が同じ研修に参加し意見をまとめている。オンライン研修を活用している。	外部研修の紹介をさらに行うと良い
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	・面談で保護者の意向など一緒に考えている	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	・家族、地域支援の具体的内容もさらに深める必要がある	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	・遊びを通して行っている	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	・月間計画に基づいて行っている		
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・繰り返しの活動の中に新しい遊びも取り入れている ・毎月保育活動の計画を立てている。	クラスに応じてプログラムを組み立てていく	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0	・生活指導の面では常に個別の支援をしている ・その都度今の状況に合わせて変化をつけている		
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・前回の反省点や注意事項など確認を行っている。		
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	・振り返りをし次の支援につなげるようにしている		
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・業務日誌や個別支援記録など細かく記録している。		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・6か月に1回振り返り計画の見直しをしている		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	・保健所、支援センターとの連携をとっている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	0	・直接または相談支援専門員を通して行っている	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	1	・現在医療的ケアが必要な児童は在籍していないが、必要に応じて保護者を通して様子を聞いている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	申し送り書を希望があれば作成している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	支援シートを作成している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	感覚統合の研修にZOOMで参加した	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4	・年齢の高い子は幼稚園等で交流している。小さい子は障害がはっきりしていない子も多く、あるなしで区別する段階ではないが地域の公園で会う機会がある。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	1	法人で参加している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っている	5	0	連絡帳や直接の対話で 伝えあう事ができている	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対して家族支援プログラム（ペアレント・ トレーニング等）の支援を行っている	3	2	・交流会や面談を通して 伝えるようにしている。 ・「ペアレントトレーニ ング」というプログラムはな いが、日常的に支援につ いて伝えている。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明 を行っている	5	0	・登室開始日に行っ たり、年度初めに説明して いる。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、 これに基づき作成された「児童発達支援計画」 を示しながら支援内容の説明を行い、保護者 から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対 する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	5	0	・親子保育では一緒に遊 びながらお伝えしてい る。 ・分離では連絡帳なども 使い行っている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	5	0	・コロナ禍で交流には注 意が必要だが、力を入 れて取り組んでいる。 ・父母会からの連絡事項 など伝えている。交流会 は学期ごとに行った	感染状況を見ながら集まれる場 所を増やし支援をしていきたい。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速 かつ適切に対応している	5	0	・話しやすいように日々 の様子を見て声を掛けて いる。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に 対して発信している	5	0		
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	個人情報、動画、関係機 関などの連携をとる時の 同意書もらっている。	
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	5	0	外国の方には必要など きに通訳を入れたり英訳 をした文書を渡している	
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている	3	2	・以前は出来ていたが、 コロナ禍で難しくなっ ている。落ち着いたら再開 出来れば良いと思う。 ・おやこまつりの開催をし た	状況を見ながら以前のように広 く開催していきたい
	非 常 時 等 の 対 応	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施 している	5	0	・分離クラスは地震、水 害における訓練を行っ た。職員は防犯訓練を 行った
④③		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	5	0	・振り返りをし報告書を作 成している	
④④		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の こどもの状況を確認している	5	0	・フェイスシートにて確認 している	
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	5	0	・保護者を通して聞いたり、 給食提供時に確認し ている。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・小さいことでも記入し、対応の仕方を共有している。	
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	・やむを得ない身体拘束について説明したり、そのような行動があった場合は保護者の方に説明している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。